

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム つつじⅡ 第3ユニット	評価実施年月日	平成20年1月31日
評価実施構成員氏名	角田 伊織・永野 祥子・新保 由香・蠣崎 麻美		
記録者氏名	角田 伊織	記録年月日	平成20年3月1日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

■は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<input type="checkbox"/> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	独自の理念があります。		今後も理念を基にサービスを提供していきたいと思います。
<input type="checkbox"/> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	スタッフの目につきやすい、休憩室に貼ったり、社内研修に取り入れてます。		今後も定期的に社内研修に取り入れていきたいと思っています。
<input type="checkbox"/> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	皆さんが出入りする玄関に掲示しており、入居の際にも説明している。		推進委員会で町内会、民生委員の方、家族へ日々の暮らしや取組みについて話し、意見交換をしています。
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	散歩時や通勤時に近所の方にご挨拶をしています。近隣の施設の方々も庭で御茶を楽しんでくれます		お互いの行事に参加する機会を継続し関係を深めていきたい。
<input type="checkbox"/> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	地域の施設、小学校の催しに参加させてもらっている。小学校の運動会では利用者が参加出来るプログラムを作ってくれました。		推進委員会で町内会、民生委員の方、家族へ日々の暮らしや取組みについて意見交換をしています。
<input type="checkbox"/> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	隣接している施設の花植えに毎年行き入所者の方と一緒に時間を過ごしています		お互いの行事に参加する機会を継続し関係を深めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>評価を理解し、改善すべき部分を改善し補うようにしている。</p>		不足部分を補いより良いホームにしていきたい
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に1回開催し地域の方や家族と話し合う機会を作っている</p>		意見交換の中からサービス向上へ活かせるようにしている
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>機会を作るようにしているが、調整が難しく行えていない。</p>		市町村と連携し、サービスの質の向上に取り組んで行える様、努力して行きたいと思います
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>研修で学んでいるが、該当者はいない</p>		その機会があれば、検討する
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>虐待防止シンポジウムに職員が参加しています。 社内で身体拘束委員会を設置しています。 社内研修での勉強会も行っています。</p>		今後も社内研修に盛り込んで行きます。講習や研修に参加して行きたいです。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>ゆっくり説明し、質問がないか、確かめながら説明を行い、不安をなくして頂けるように行っている。</p>		今後も、トラブルのないよう、しっかりと説明を行って行きたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見は都度伺うようにし面会時や電話で対応し日々の生活に生かしている。		運営推進委員会に利用者の方も参加してもらい外部の方とお話する機会を作っている。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	面会時に健康状態や暮らしぶりについてお話しています。面会に来られない方には電話で報告したり2ヶ月に1度お便りを送っている。		今後も個々にあった対応をしていく
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	市や国保連等の外部機関の説明をした上で管理者及び職員にも窓口がある事を果たしている。意見箱も設置しているが今までご意見は頂いていない。		ご意見があれば運営に活かしていきたい。又気軽に話していただけるように努めていきたい。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に会議を開き意見交換の場を設けている。		直接介護をしている声を重視している。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	対応ができるようプラスの要員を確保するように心掛けている。		ヘルパー資格を持つ事務職員が対応している事もある。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	移動時、離職時には、見守り・心配りの強化に努めています。		関わりを多く持つようにし、少しでも寂しさや不安を解消して頂けるように努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社内勉強会を月に一度行っています。実践者研修や市役所などで行っている、社外研修にも参加しています。</p>	<p>今後も積極的に社内研修や社外研修などに参加していきたいです。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>道内のグループホームに積極的に見学へ行き、質の向上に努めています。</p>	<p>今後も行い、質の向上に努めたいです。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>業務上の悩みはいつも話しあうようにしている。親睦を深めるような機会を作っている。</p>	<p>各フロアーのチーフ、管理者等であう機会を作り対話しやすい機会を作っている。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>勤務状況を把握し資格の修得、研修をすすめている。</p>	<p>研修後の伝達講習、社内研修の開催等も視野に入れている</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご本人から話を聞いている。</p>	<p>見学を勧めこれからの生活の場を見てもらっている。不安の内容を聞き具体的な生活援助を提案している。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>十分話している。</p>	<p>ご家族の協力を得ながら無理のないように進めている。生活の場面を電話や面会時に細やかに伝えている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	今御困りの事はないか、聞くようにしている。すぐ対応するようにしている。		側にいる機会を多くするように心掛けている。一人ではない事をお伝えしている。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	見学の際、職員を紹介し入居の時少しでも馴染みになっているように配慮している。		食事の希望があれば応じる用意がある。催しに参加も勧める事もある。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	今出来る事を一緒に行ない、教えてもらうという姿勢で接している。人生の先輩として接するよう心掛けています。		調理方法、草花の名前、ことわざ等聞き関わりの中から自信の回復につなげている。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の方とともに日々生活について共有し面会時や電話等で関係を深めています。		時間の許す限り外出、食事を家族と過ごしてもらったり、ホームの催しに招いたりと共に楽しんでいる。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	時間的距離を調整したり、家族と行事に出かける機会の連絡を仲介している。		心身の状態から無理がないように話し合っている。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	入居の際友人関係や交流関係を確認し継続できるようにしている。		友人関係が崩れぬよう、希望に合わせて支援して行く。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	個々の生活や性格に配慮し仲間作りの援助をしている。		家事や余暇活動の際にきっかけを作るようにしている。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	終了時も相談毎に応じたいと伝えている。		お会いした際声をかけている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人・家族と話し、希望などを聞き、その方に合ったより良い生活を送って頂けるように心掛けています。		今後も本人・家族の話をしていき、暮らしやすい環境を作るよう心がけ、職員間でも話し合い、良い方向にいくように努力していきたいです。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人、家族から出来るだけ情報を聞き状況を捉えている		好みや習慣を損なわないようにしている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の関わりの中で、心身状態の把握を行っております。		職員同士の情報交換を強化していきたいです。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	会議を開き、意見やアイデアを話し合い、家族の面会時に意見をお聞きし作成している。		ご本人からは生活を共にしながら聞いている。反映する事は基本と認識している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	必要に応じて、新たに作成しています。		これからも現状に適したプランにそって生活支援をして行く。
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日、一人ずつの介護記録を記入し、休みの職員にも出勤時に確認し印を押すようにしている。 変化に合わせて見直している。		申し送りノートを活用し、情報交換を実践している。具体的にどうすれば良いか取り組んでいる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	季節の行事の参加、申請書類の手続き等協力を得ている。		夏祭りの実施、ボランティアの呼びかけ等の協力がある。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域の民生委員、消防、学校等と交流がある。		推進委員会の参加、救急救命講習、学習発表会等もある。ボランティアの参加も多く茶道、歌会などもある。
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のケアマネや事業者と連絡をとっている。		入居の際の相談や転居等で協力を得ている。
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要時に相談したいと思っている。		必要時に相談したいと思っている。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	職員に看護師がいて相談にのってくれる。又協力病院では細やかに対応してくれる。		ホームで対応する事、受診する事の判断も指示をもらうようにしている。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力病院の看護師に相談している。		健康状態を伝え医師との橋渡しをしてくれている。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力病院の看護師に相談している。		健康状態を伝え医師との橋渡しをしてくれている。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	経過の状態を知らせてもらったり、実際に病院に行き確認している。		具体的に確認している。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	話し合い共有している。		情報が入ると家族に確認し職員間で申し送っている。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	かかりつけ医の指示、家族の意向を尊重している。		その方にあつた方向を支援している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居 宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住替えによるダメージを防ぐことに努 めている。	本人、家族の意向を充分お聞きしている。		希望に合わせて対応をしていくようにしている。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる ような言葉かけや対応、記録等の個人情報 の取扱いをしていない。	先輩に対し尊敬の念を忘れないように心掛けている。		記録も話かけるように書くように伝えている。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや記号を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている。	利用者の話をよく聴き、自己決定が出来るような声掛けを行い、納得して頂けるよう に支援 しています。		どんな事も話してもらうよう声をかけている。具体的に場所や人を変えて 見るなど試みている。
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、その 日をどのように過ごしたいか、希望にそって 支援している。	利用者が趣味を活かし、生き生きとした生活が送れるように支援している。		これからも利用者一人一人のペースに合わせて、その人らしい生活が送れ るように支援していきたいです。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができ るように支援し、理容・美容は本人の望む店 に行けるように努めている。	ご自分で選んでもらっている。町の美容室に行く機会を設けている。		季節や外気温に合っているか見守り、おしゃれのアドバイスを求められた 時は一緒に楽しむようにしている。
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と職 員がその人に合わせて、一緒に準備や食 事、片付けをしている。	好みを聞き取り入れるようにしている。出来る事を重視し参加をすすめている。		次回の献立や季節の行事に活かしている。行事食は教えてもらう事も多 い。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	嗜好について希望にあうように配慮している。		お酒を飲む方はいないが、タバコは時間を決めて楽しんでもらっている。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄のリズムを把握し定期的に誘導したり声を掛けたりしている		落ちつきない様子や時間に一緒にトイレまでいったりしている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	のんびり入浴を楽しんでもらえるようご自分のペースに合わせていただいている。		シャワーや掛け湯を利用し負担が少ないように体調にあわせている。入る時は、ご本人に確認をしてから入るようにしている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	個々の生活のリズムを知り大切にしている。		夜にリビングで過ごされる方、自室で本を読まれる方等好みに合わせている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	日々の生活の中で個性に合った楽しみを提供したり家事の取組みを心がけている。		家事の得意な方、人に物を教えていた方など過去の生活も重視しながら支援している。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人のご希望により持っている方もいる。		どこに置いたか忘れてしまう事がある。希望を聞き家族と相談しながら対応している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	ご本人の希望に沿った外出の機会をもっている。		近隣への散歩、庭の散歩などにお誘いしている。又状態に合わせ片道に車椅子を使うなど負担を少なくするようにしている。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	季節の景観を楽しむ事も取り入れていえる。		春の花見、秋の紅葉狩り、学校行事の参加、近隣ホテルの収穫祭り等へ行き交流を図りながら季節を楽しんでいる。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望により家族や友人と交流がある。		希望に合わせ電話で話したり、来訪があったり、外出をしたりしている。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	入居の際に聞き、可能な限り面会をしてもらっている。		ホームの催しにご招待し一緒にたのしんでもらっている。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	人としてどうあるべきかを日頃から話し大切さを確認している。		社外研修に参加、社内研修においても学んでいる。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中鍵はかけていない。		夜遅番が退社後に掛けている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	安全を第一と考え失礼のないように配慮している。		先輩、目上の方に話すようにと、教えてもらうという姿勢で接している。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	洗剤、火器、刃物、薬は管理している。状況に合わせて御渡ししている。		爪切り、服薬等側で見守り出来る限りご本人の持っている力を維持して頂くようにしている。一緒に調理する時は包丁も使っています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	転倒、喉つまり等全体的に注意している。社内研修等で学んでいる。		個々のプランに反映し支援している。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	定期的に夜勤者を含め職員が研修に参加できるようにしている。		消防の協力をもらい、救急救命の講習、フロア単位の研修等を開催している。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	定期的に避難訓練は行なっている。住宅地から離れているが隣の施設は協力がえられる。		運営推進委員の方、民生委員、町内会の方々等集まる機会に協力をえられるようにして行きたい。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	身体的、精神的から主治医の指示、家族からの情報もらいながらとりくんでいる。		転倒の危険性などを家族に説明している。又、行っている対応もお伝えしている。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	健康状態を把握し違いを見出すようにしている。変化があれば情報を交換している。		健康チェック、食欲、歩行、話し方にいつもと違いがないか確認している。あれば連絡をとり口頭、ノートなどで確認するようにしている。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の説明書が記録簿の中にあり確認している、個々の薬箱があり、服薬後の表情も観察している。受診後には、一人ひとりの薬を確認し、薬の袋には日付を大きく書き、服用時には本人の名前と日付を読み上げ、見守りの中確実に服用出来るように支援しています。		今後も服用の支援と症状の変化の確認に努めていきたいです。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	予防、対応の工夫をしている。		食事のバランス、水分、家事や楽しみの中から体を動かす等している。主治医に相談する事もある。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、歯磨きをしており、不十分な方は援助し清潔に維持に努めている。		食後声をかけ歯磨き、うがいを依頼又歯科衛生士が定期的に指導に入っている。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食欲のない方への工夫、水分量の確認をしている。		口当たりの良い物に換えたり好みの物を用意している。水分はお茶、ポカリ、コーヒーなど飽きの来ないようにしている。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外部から持ち込まないようにしたり、食事の取扱い、汚物の処理を取り決めている。感染症マニュアルを作成し、見やすい所に掲示してあります。外出後には、手洗い・うがいを行っています。		玄関に消毒薬を置き、食事は手洗い、加熱、迅速な処理、汚物は使い捨て手袋を使っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	台所、器材は消毒をし食材は賞味期限を確認している。		夕食の後片付けのあとで器材、台所、布巾等消毒しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	草花を飾ったり、夕方より外灯を付け、暖かい雰囲気を出せるように努めています。		安心して、出入りが出来るように工夫していきたいです。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎日、掃除をしており、不潔感のないように心がけています。季節感を出すため、飾り付け行ったり、季節の食材を使用したりしております。		共用スペースは、特に清潔感を保っていきたいと思っています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	気の合った人たちと共用スペースを利用されています。		ゆっくり暮らして行けるように、これからも考えていきたいです。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居前に使用されていたタンスやペットなど、使い慣れた物を使用してもらっています。		居心地の良い環境で暮らして頂きたいと思っています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	掃除の時には、各部屋の窓を開け空気の入替えを行ったり、換気扇を回しています。又、居心地の良い温度になるようフロアに温度計を置き、調整しています。		今後も居心地の良い温度・換気に努めていきたいです。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	部屋には、本人の使い慣れた家具や小物を置いて頂いている。 手すりが必要な方には出入り口にも装着している。		自立した生活が送れるように、工夫していきたいです。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	1対1で関わり一人ひとりが出来る事を、行えるようにケアしている。		一人ひとりと関われる時間を大切にしていきたいです。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	中庭を広くバリアフリーにしたのを活用し、茶屋で売店を開いたり、ホーム喫茶を行っている。		今後も中庭を利用し、他フロアの利用者さんとも交流も深めていきたいです。



V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない ①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ④
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない ①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ③

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">①</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">①</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)